

遊園地・テーマパークが好調

～訪日外国客の増加も追い風に～



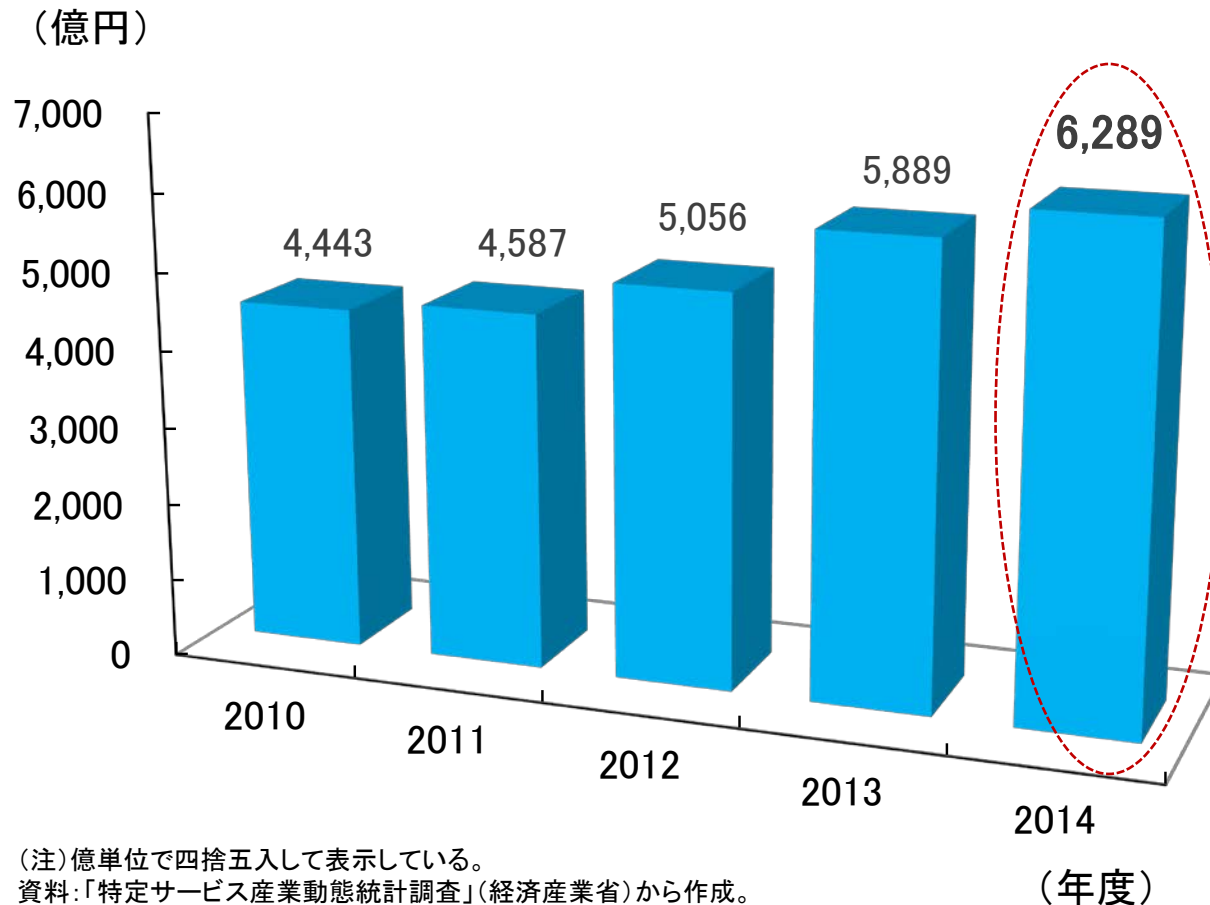
2015年5月
経済解析室

≡二経済分析URL: <http://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/minikeizai-result-1.html>

遊園地・テーマパークの売上高は過去最高額を記録①

- 特定サービス産業動態統計調査によると、2014年度の遊園地・テーマパークの売上高は、前年度比+6.8%増^(※)の6,289億円となった。
- 年度で初めて6,000億円を上回り、2000年の調査開始以来過去最高額を記録した。

遊園地・テーマパークの売上高の推移(年度ベース)

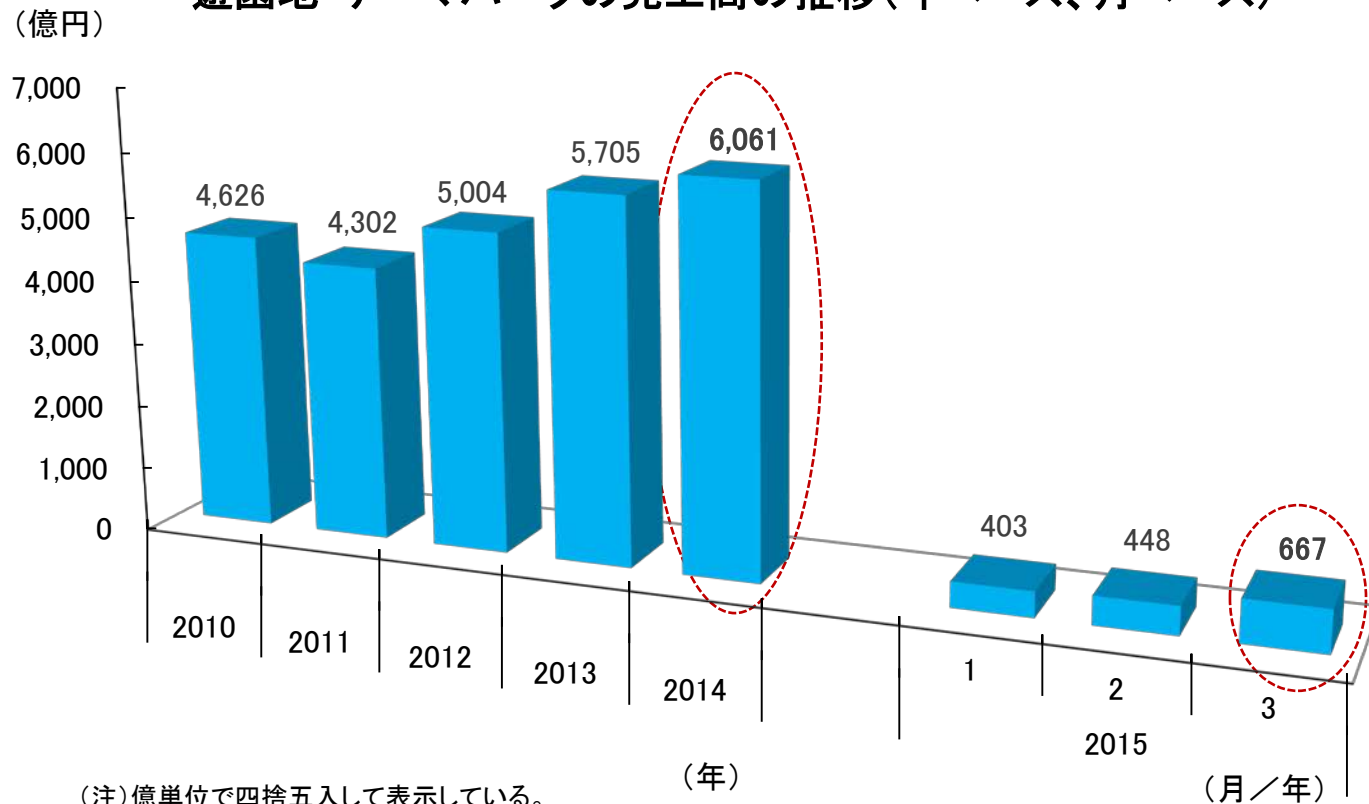


(※)2015年1月分より調査対象の見直しを行ったため、以前の数値と不連続が生じている。伸び率はこれを調整したものである。

遊園地・テーマパークの売上高は過去最高額を記録②

- 遊園地・テーマパークの売上高は、年ベースでも、2014年は前年比+6.2%増の6,061億円と、年で初めて6,000億円を上回り、2000年の調査開始以来過去最高額を記録している。
- 月ベースでは、2015年3月に前年同月比+14.4%増^(※)の667億円と、3月単月では2000年の調査開始以来過去最高額を記録している。昨年同月より天気が比較的良く、大手施設のイベント(新アトラクション、クールジャパンイベント等)が好調であったこと等による。

遊園地・テーマパークの売上高の推移(年ベース、月ベース)



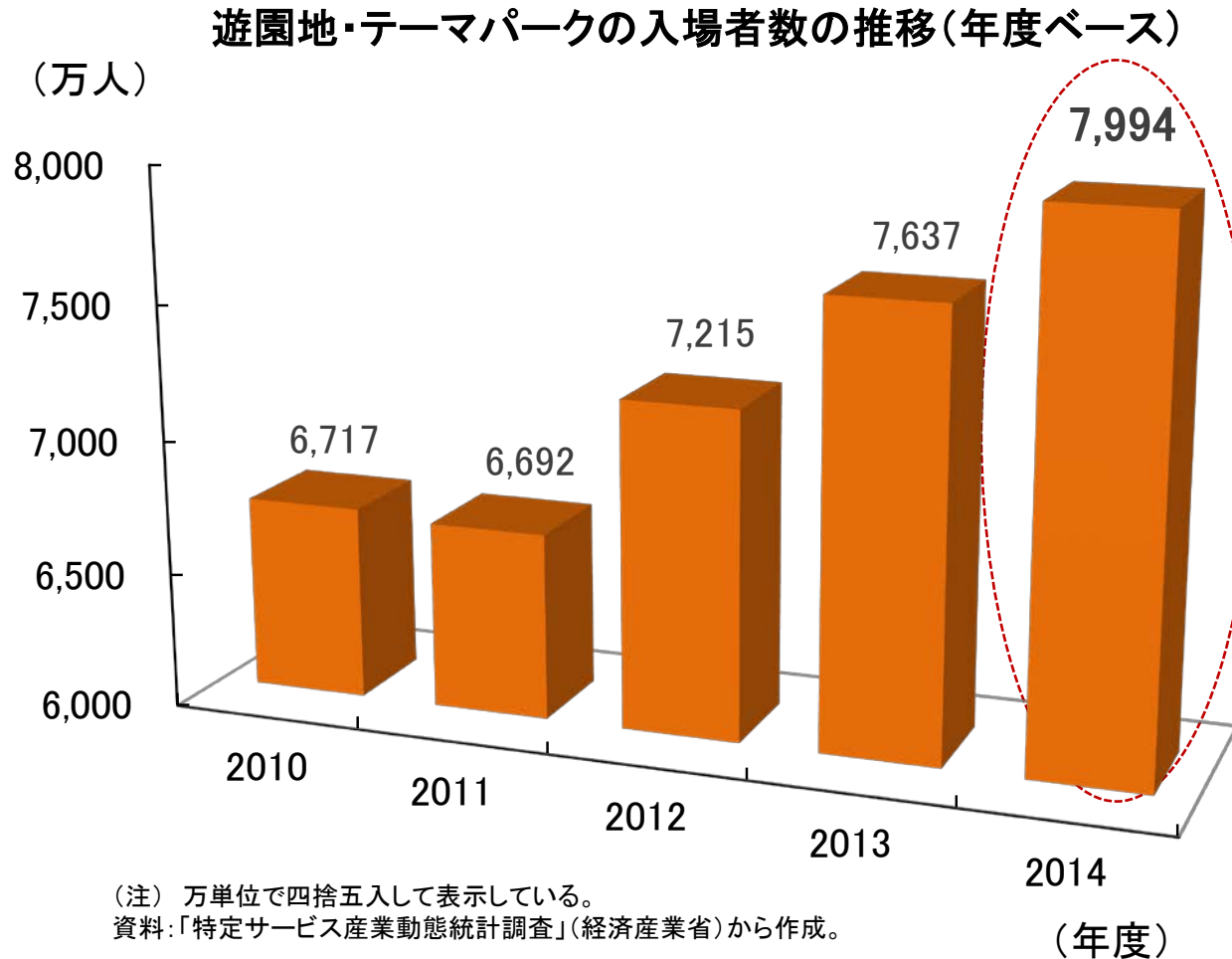
(注)億単位で四捨五入して表示している。

資料:「特定サービス産業動態統計調査」(経済産業省)から作成。

(※)2015年1月分より調査対象の見直しを行ったため、以前の数値と不連続が生じている。伸び率はこれを調整したものである。

遊園地・テーマパークの入場者数は過去最高を記録①

- 特定サービス産業動態統計調査によると、2014年度の遊園地・テーマパークの入場者数は、前年度比+4.8%増^(※)の7,994万人となり、2000年の調査開始以来過去最高を記録した。

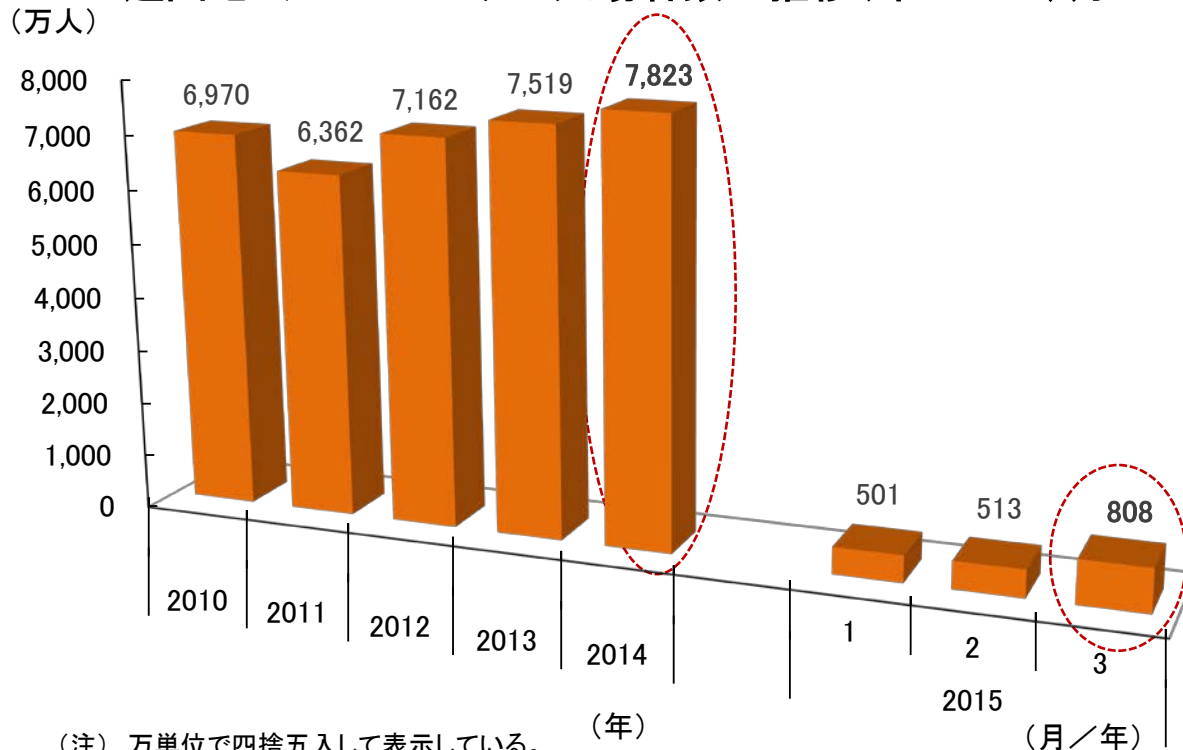


(※)2015年1月分より調査対象の見直しを行ったため、以前の数値と不連続が生じている。伸び率はこれを調整したものである。

遊園地・テーマパークの入場者数は過去最高を記録②

- 遊園地・テーマパークの入場者数は、年ベースでも、2014年は前年比+4.1%増^(※1)の7,823万人となり、2000年の調査開始以来過去最高を記録している。
- 月ベースでは、2015年3月に前年同月比+7.9%増^(※2)の808万人と、3月単月では2000年の調査開始以来過去2番目を記録している(1番目は2003年3月の823万人)。昨年同月より天気が比較的良く、大手施設のイベント(新アトラクション、クールジャパンイベント等)が好調であったこと等による。

遊園地・テーマパークの入場者数の推移(年ベース、月ベース)



(注) 万単位で四捨五入して表示している。
資料:「特定サービス産業動態統計調査」(経済産業省)から作成。

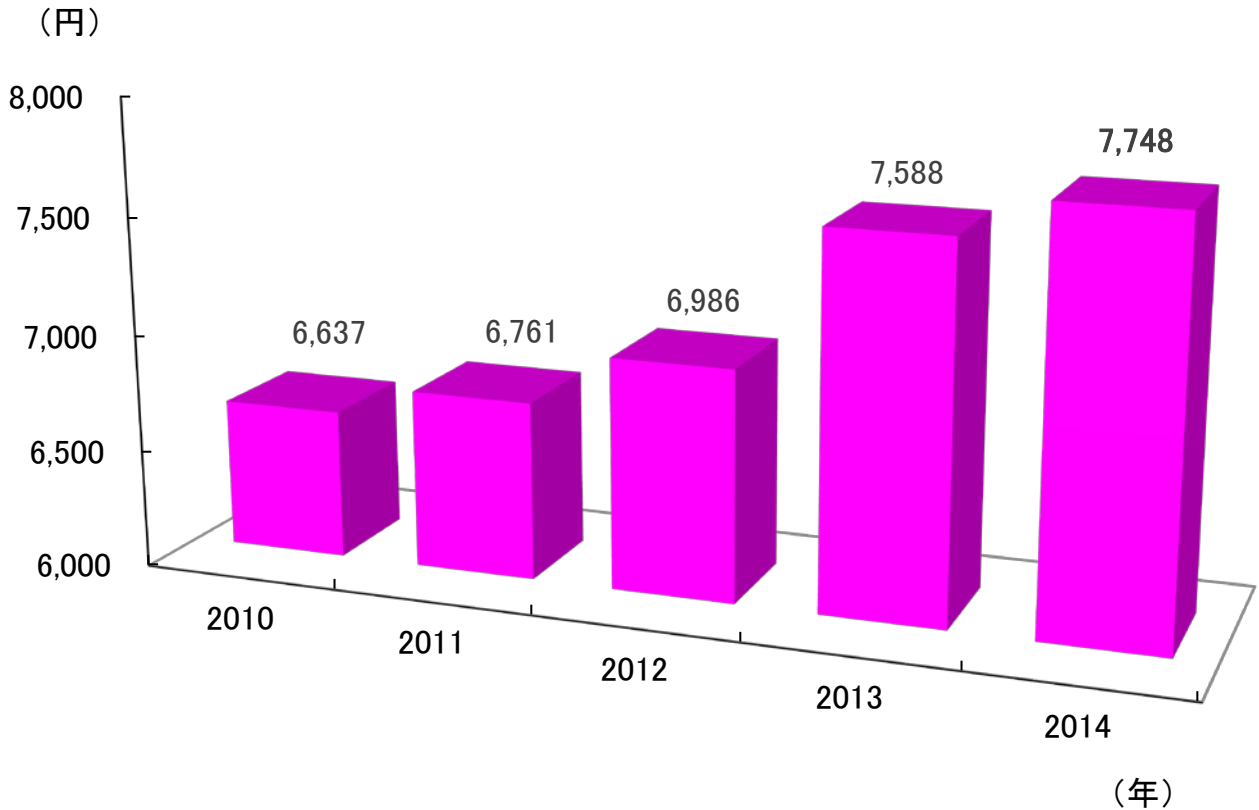
(※1) 前年比は「万人」ではなく「人」の単位で計算している。

(※2) 2015年1月分より調査対象の見直しを行ったため、以前の数値と不連続が生じている。伸び率はこれを調整したものである。

遊園地・テーマパークの入場者数1人当たり売上高は増加傾向

- 2014年の遊園地・テーマパークの入場者数1人当たり売上高は7,748円と試算される。
- 遊園地・テーマパークの入場者数1人当たり売上高は増加傾向で推移している。

遊園地・テーマパークの入場者数1人当たり売上高の推移
(年ベース 試算値)



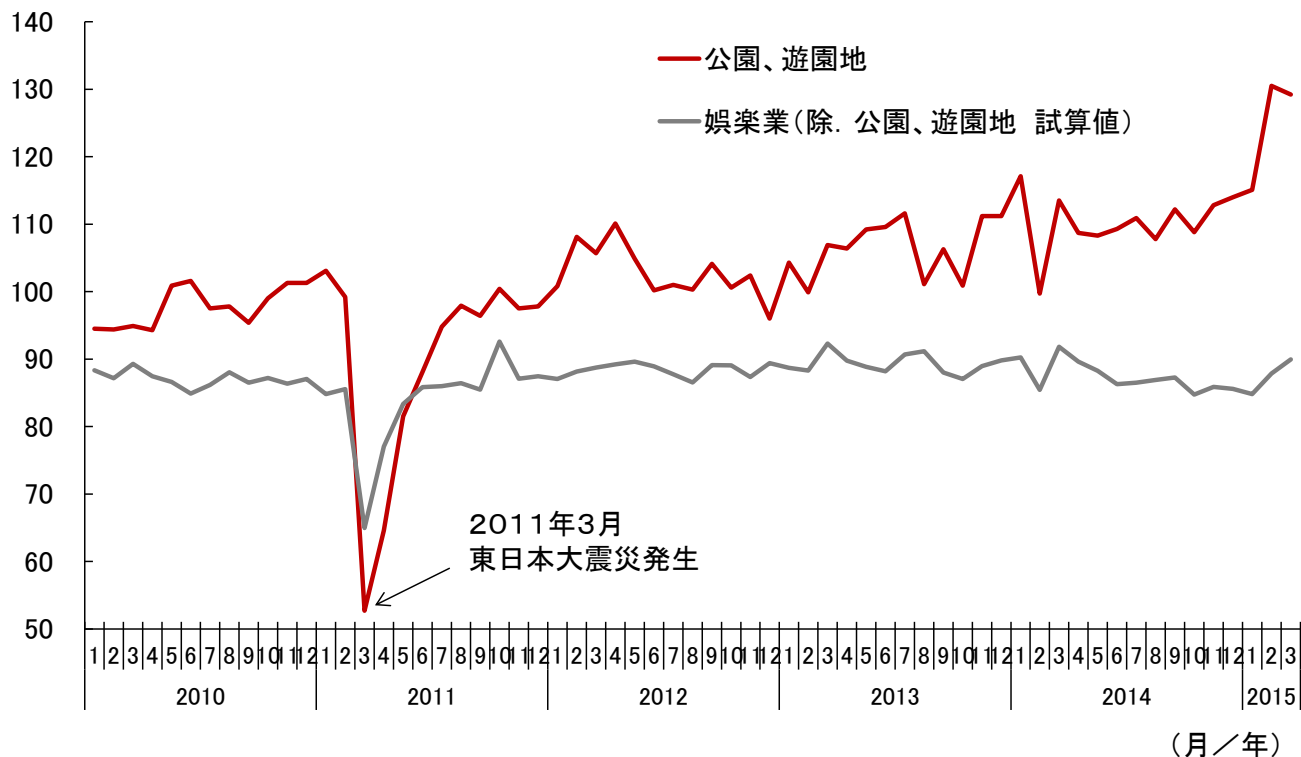
(注) 1人当たり売上高=売上高÷入場者数で算出。
資料:「特定サービス産業動態統計調査」(経済産業省)から作成。

第3次産業活動指数の「公園、遊園地」は上昇傾向で推移

- 第3次産業活動指数(2005年=100, 季節調整済)を見てみると、「娯楽業」の内訳の一つである「公園、遊園地」は、2011年3月の東日本大震災発生時に大幅に低下したが、その後回復し、上昇傾向で推移している。
- 一方、「娯楽業(除. 公園、遊園地)」は、震災の落ち込みからは回復したものの、その後は横ばい傾向となっている。

第3次産業活動指数 「公園、遊園地」と「娯楽業(除. 公園、遊園地)」の推移

(2005年=100、季節調整済)



(注) 第3次産業活動指数の「娯楽業」には、「映画館」、「興行場、興行団」、「競輪・競馬等の競走場、競技団」、「スポーツ施設提供業」、「公園、遊園地」、「遊戯場」が含まれる。

資料: 「第3次産業活動指数」(経済産業省)から作成。

第3次産業活動指数の「公園、遊園地」は高水準

- 第3次産業活動指数(2005年=100, 季節調整済)の2015年3月の指数水準を比較してみると、「公園、遊園地」は小分類業種83系列(卸・小売業の系列は除く)の上から6番目の高水準となっている。

2015年3月 第3次産業活動指数小分類業種ランキング
(2005年=100、季節調整済)

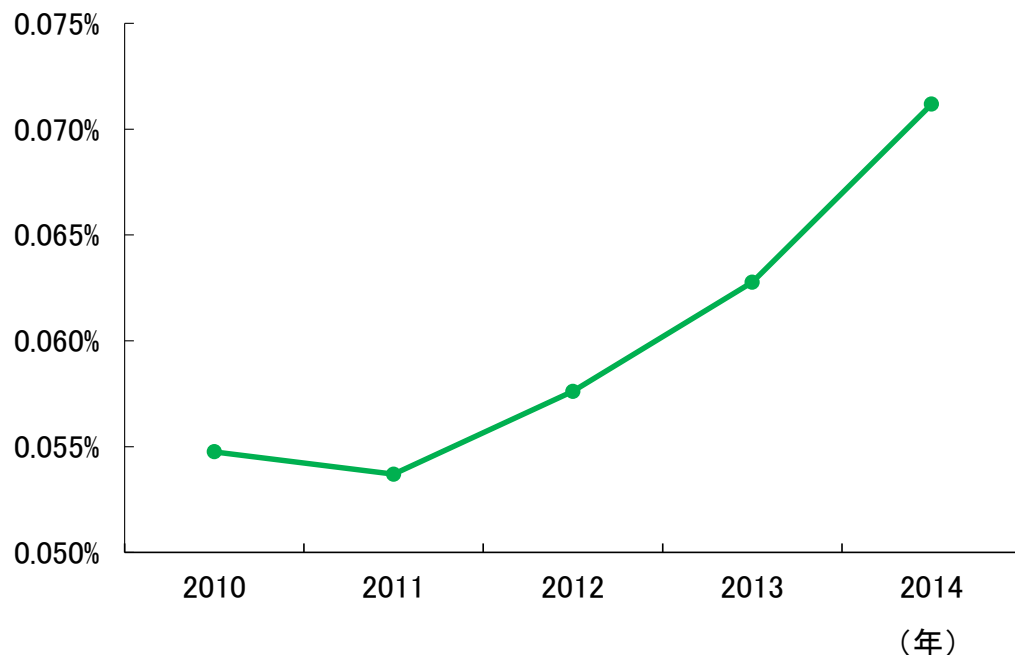
順位	小分類業種名	指数値
1	インターネット附随サービス業	281.0
2	クレジットカード業	154.1
3	居宅介護サービス	148.6
4	移動電気通信業	146.0
5	ホテル	139.1
6	公園、遊園地	129.2
7	ガス業	127.0
8	宅配貨物運送業	125.2
9	自動車レンタル業	124.8
10	病院・一般診療所	124.5

(注) 小分類業種(106系列)から卸・小売業の系列を除いた83系列でランキングしている。
資料:「第3次産業活動指数」(経済産業省)から作成。

家計の消費支出額に占める「遊園地入場・乗物代」の割合は上昇傾向で推移

- 総務省の家計調査(年ベース、総世帯ベース)を見てみると、2014年の1世帯当たりの消費支出額に占める「遊園地入場・乗物代」の割合は0.071%となっている。
- 1世帯当たりの消費支出額に占める「遊園地入場・乗物代」の割合は、僅かではあるものの上昇傾向で推移している。

1世帯当たりの消費支出額に占める「遊園地入場・乗物代」の割合の推移 (総世帯ベース)



年	消費支出(円)	遊園地入場・乗物代(円)	消費支出額に占める遊園地入場・乗り物代の割合(%)
2010	3,027,938	1,658	0.055%
2011	2,966,673	1,593	0.054%
2012	2,971,816	1,712	0.058%
2013	3,018,910	1,895	0.063%
2014	3,017,778	2,148	0.071%

資料:「家計調査」(総務省)から作成。

「遊園地・テーマパーク」売上高に占める 訪日外国人消費額の割合は上昇傾向で推移

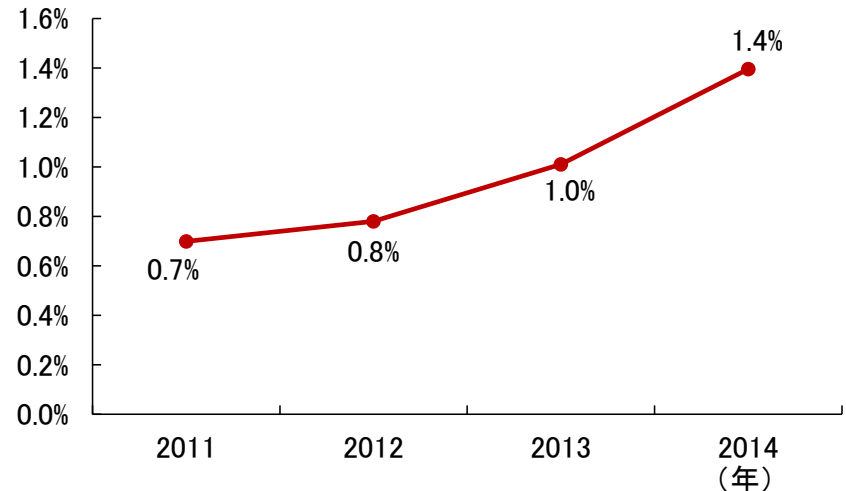
- 観光庁の訪日外国人消費動向調査及び日本政府観光局(JNTO)の訪日外客数の動向を見てみると、訪日外国人全体の旅行消費額、訪日外客数は増加傾向で推移している。
- 2014年の「遊園地・テーマパーク」売上高に占める訪日外国人消費額の割合は1.4%弱程度と試算される。
- 「遊園地・テーマパーク」売上高に占める訪日外国人消費額の割合は上昇傾向で推移している。

訪日外国人全体の旅行消費額と 訪日外客数の推移



資料:「訪日外国人消費動向調査」(観光庁)、「訪日外客数の動向」(日本政府観光局(JNTO))から作成。

「遊園地・テーマパーク」売上高に占める 訪日外国人消費額の割合の推移(試算値)



(注) 各年の訪日外客数に、各年の訪日外国人消費動向調査の「ゴルフ場・遊園地」購入率(その費目を購入した人の割合)を乗じて人数を算出し、各年の「ゴルフ場・遊園地」購入者単価(1人当たり支出額)にこの人数を乗じて、各年の訪日外国人の「ゴルフ場・遊園地」消費額を算出した。消費額の中には、遊園地の他、ゴルフ場への支出額も含まれていることに留意する必要がある。

資料:「特定サービス産業動態統計調査」(経済産業省)、「訪日外国人消費動向調査」(観光庁)、「訪日外客数の動向」(日本政府観光局(JNTO))から作成。